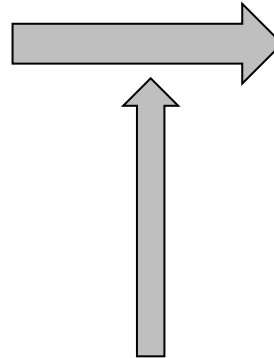


令和6年度 村松小学校 学力向上プラン

【児童の実態】

《令和5年度学力調査》

- 《質問紙》 ・ 「夢や目標をもっている」と回答した割合が高い。
 ・ 地域に愛着をもつ児童が多い。
- 《共通》 ・ 4年から6年は、全国・県・市の平均を下回っている。
 ・ 問題の意図を正確に読み取れない。
 ・ 複数の情報を関連付けて読むことが苦手である。
 ・ 目的や条件に応じた文章（説明）を書くことが苦手である。
 ・ 「問題を解く時間が足りない」と回答した児童の割合が高い。
 ・ 無答率が以前より向上しているが、まだ高い。
- 《国語》 ・ 主語・述語の理解が不十分である。
 ・ 自分の考えを分かりやすく文章で書き表すことが苦手である。
- 《算数》 ・ 問題解決の方法について、図や式をもとに論理的に説明することが苦手である。
 ・ 計算力（速さ・正確さ）が不足している。
 ・ 図形の理解が不十分である。



【到達目標】

《めざす姿》 未来に夢を描き、時代をよりよく生きるたくましい子ども

《数値目標》

長期目標 ※R8学力調査

全国	平均比プラス、無回答5%以内
県	平均比プラス、無回答5%以内
市	平均比プラス、無回答5%以内
1・2年	本校学力調査：平均正答率75%

中期目標 ※2学期末学力調査（4月～12月までの学習内容）

5.6年生	： 平均正答率65%、無答率10%以内
3.4年生	： 平均正答率70%、無答率10%以内
1.2年生	： 平均正答率70%、無答率10%以内

短期目標 ※毎学期末

国語・算数の学期末評価テスト平均正答率80%以上

【心の教育】

- 1 支持的風土のある学級づくり
 - ・ 互いに認め合う学級づくり
- 2 道徳・特別活動の充実
 - ・ 粘り強く取り組む心を育てる

《到達目標達成のための重点指導事項》

- 1 書く活動の充実
- 2 読解力の育成
- 3 確かな評価（振り返り・習熟）
- 4 基礎基本の定着

【生活指導】

- 1 共通実践事項の徹底
 - ・ あいさつ ・ 時間を守る
- 2 いじめを許さない安心感のある環境づくり
 （生活アンケート、個人面談の実施
 児童の情報共有と個に応じた指導 等）

【分かる・できる授業の創造】

- 1 「書く活動」を重視する授業
 - ・ 主語や述語を明確にした文章を書かせる。
 - ・ 根拠を明確にした文章を書かせる。
 - ・ 条件に合った文章を書かせる。
 - ・ 複数の資料から読み取った考えを表現させる。
- 2 自力解決の場面・習熟の時間のある授業
- 3 「ねらい」と「まとめ」が子どもに届く授業
- 4 対話活動（ペア・グループ・全体）のある授業
- 5 ICTを活用した授業
- 6 T・Tと連携した個別・補充の指導

【校内研究】

- 1 授業研究
 - ・ 全体授業・学年授業
 - ・ 初任研・新任研授業
 - ・ 言語活動の充実
 （主体的・対話的で深い学びの視点）
- 2 スキル一覧表の作成
 - ・ 効果的学習の共有
 計算バトル
 漢字テスト ほか
- 3 現職教育
 - ・ Chromebookの活用法
 - ・ 学力向上研修

【基礎基本の定着】

- 1 スキルタイムの充実（朝 週1回）
 - ・ 既習内容の復習の徹底
 - ・ 活用問題
- 2 クラウド活用型ドリルの活用
- 3 家庭学習の充実と習慣化
 - ・ 今日学習したことの復習
 - ・ 「家庭学習のしおり」の活用
 - ・ 音読カードの活用
 - ・ 自学ノート
 - ・ 日記指導
- 4 全校学力調査（12月）
 - ・ 全学年（算数）

【授業を支える取組】

- 1 読書活動の充実
 - ・ 朝の読書タイム（週1回）
 - ・ 読み聞かせ（年6回）
 図書ボランティア（よみよみの会）
 - ・ ファミリー読書
- 2 学習規律の確立
 - ・ 学習用具のきまり
 - ・ 話型の掲示（発表名人）
- 3 学校サポーターの活用
 - ・ 実技応援隊（家庭科・音楽）
 - ・ おやじの会（総合的な学習の時間）
 - ・ ゲストティーチャー

